



2/26 標茶高校の活動成果を発表しました

標茶高校感謝イベント「グラスランドフェア」がコンベンションホールういずで開かれました。同イベントは同校の教育活動を町民に広く紹介する取り組みで、今年で3回目の開催となります。はじめにスピードスケート部の藤野裕人君の優勝報告会が行われ、続いて教育活動の紹介として「30分でわかる標茶高校」と題したスライドを活用し、生徒たちが商品化した加工品や湿原再生のプロジェクトの成果の発表、進路実績の紹介などが行われました。また、同校の生徒が加工した商品「グラスランド」の直売会なども行われ、多くの町民が楽しいひとときを過ごしました。



2/24 自衛隊入隊予定者激励会

今春、本町から自衛隊の入隊を予定している方を対象に「平成23年度標茶町自衛隊入隊予定者激励会」が役場で行われました。みなさんから温かな激励を受けた藤谷唯さんは「人を守るという仕事に就きたいと自衛隊を志望した。一つ一つ目の前にあることをこなしていきたい」と決意を新たにしました。



3/1 災害時の物資供給協定を締結

本町と商工会で「災害時における応急生活物資の調達と安定供給を行う協定」を結びました。本協定は大規模災害があった場合、町災害対策本部と商工会が連携し、町内商店など29業者が各避難施設などにいる被災者や災害応急対策をされている方へ必要な物資を送り届ける仕組みです。商工会の田中会長は「共存共栄のまちづくりを形にすることができた。商工会を中心に応援協力を円滑に行っていききたい」と語りました。



3/5 ユネスコスクールに承認されました

中茶安別小中学校がユネスコスクール加盟校に承認され、その伝達式が同校で行われました。ユネスコスクールとは、世界平和や国際交流などユネスコ憲章に示された理念を教育現場で推進する実践校で、世界180カ国で約9,000校が加盟しています。同校は生徒や保護者、地域の方々が一体となって学校林を活用した環境活動に取り組んだことが評価され、本町では初めての加盟校となりました。釧路ユネスコ協会の山田和弘会長から加盟校プレートの伝達を受けた児童生徒会長の堀江仁美さんは「私たちの小さな学校が認められたのは学校林の活動のおかげ。かけがえの無い財産をこれからも守っていききたい」と今後の活動への意欲を示しました。



熱戦が繰り広げられました

第32回標茶町総合武道大会が武道館で開催され、柔道、剣道、空手の競技が行われました。大会に出場された選手のみなさんは日頃の練習の成果を競い合いました。



2/28 標茶柔道少年団全道大会での活躍誓う!!

1月22日に湿原の風アリーナ釧路で行われた全道少年柔道優勝大会釧根地区予選（小学生の部）で優勝を飾り、3月4日に千歳市で行われる全道大会への出場を決め、その報告に役場を訪れました。標茶小学校5年生の森本昌君は「全道大会では3位以内の入賞を目標に、得意の大外刈りで勝ちたい」と全道大会での活躍を誓いました。



3/2 ひなまつり会を楽しみました

桃の節句を祝って、みどり保育園でひなまつり会が開催されました。園児のみなさんは「うれしい ひなまつり」の歌を全員で元気に歌った後、折り紙で作ったひな人形の工作のお披露目を行いました。ひなまつりにちなんで、お内裏様とおひな様に扮した園児を運びリレーをはじめ2種目のゲームも行われ、ひと足早いひなまつり会に園児は楽しいひとときを過ごしました。



しべちや写真館

（久著呂北野宗之助水田の状況）

撮影 昭和3年9月（今から84年前）

場所 標茶町久著呂

出典・所蔵 標茶町郷土館

昭和初期に久著呂で稲作を行っている様子です。本州から北海道にやってきた人々の多くは、黄色に輝く稲穂を夢見てやってきました。北野宗之助は徳島から移住した団体の一員です。切り株も所々残る新しい水田に、人々は大きな夢を描いていたのかもしれない。



3/16 災害時の機材供給協定を締結

本町と共成システムとサンワ機械リースは「災害時におけるレンタル機材の優先供給に関する協定」を結びました。本協定は大規模災害があった場合、両社が災害や避難所運営に必要な発電機、簡易トイレ、暖房機などの安定確保に協力する内容です。本町の災害に関する協定はこれで7番目となります。



3/17・18 SLに乗客した方をおもてなし

商工会主催による「うまいもん巡り市場」が標茶駅前特設会場で行われました。同イベントはSL冬の湿原号の歓迎事業として初めて行われ、町内と釧路管内の事業者が集まって地元の特産品を販売しました。会場では町民やSL冬の湿原号の乗客が立ち寄り、大いに賑わいました。